

がんばれ看護学生!!

2013年6月号 第183号

発行：京都民主医療機関連合会 ホームページ：<http://www.kyoto-min-iren.org> E-Mail：kangogakusei@kyoto-min-iren.org
〒615-0004 京都市右京区西院下花田町21-3 春日ビル4階 TEL (075) 314-5011 FAX (075) 314-5017



夏のナーシングセミナーのご案内

京都民医連に加盟する各病院では、夏休み期間中に看護体験を行う“ナーシングセミナー”を実施します。看護学校の実習とはまた違う角度で、病院や診療所、訪問看護ステーションの看護を体験してみませんか。



♪スケジュール例♪

(半日でも可)

- 10:00 オリ・自己紹介
- 10:30 院内見学・病棟体験
- 12:00 昼食
- 13:30 訪問看護ST体験
- 16:00 病棟スタッフと交流

■2013年度ナーシングセミナー実施病院■

- ①京都民医連中央病院（京都市中京区）＜日時：随時＞
※助産師体験は、母性の授業を終了された方に限ります。
- ②吉祥院病院（京都市南区）＜日時：随時＞
- ③京都協立病院（京都府綾部市）＜日時：8/8（木）、他は随時＞
- ④京都民医連第二中央病院（京都市左京区）＜日時：随時＞
- ⑤葵会おおみや葵の郷／総合ケアステーション訪問看護（京都市北区）＜日時：随時＞

病棟体験（ご希望の科で）・訪問看護・診療所など、できるだけご希望に応じ、スケジュールをくみます。

♪詳細・お申し込み・お問い合わせは以下まで♪

- ①～③を希望される方は、京都保健会 看護学生担当 佐藤 tel (075) 813-5901（代表）
- ④を希望される方は、京都民医連第二中央病院 看護学生担当 岩田 tel (075) 712-9133（直通）
- ⑤を希望される方は、おおみや葵の郷 師長室 西村 tel (075) 495-6650（代表）

※申し込みは、体験希望日の2週間前とさせていただきます。
※受け入れが決まり次第、各病院より詳細案内をお送りいたします。

～昨年参加した学生さんの感想～

- ★臨床という現場を見ることができた貴重な機会となり、さらに学びを深めることができました。皆さんとても和やかに接してくれて、温かみを感じました。
- ★病院の雰囲気がよく分かり、質問にも丁寧に答えてくれ、有意義な時間を過ごせました。
- ★訪問看護に同行。在宅ならではの看護や処置の工夫を知りました。傾聴するNSの姿も素敵でした。
- ★オペ室見学をし、NSや医師から詳しく教えてもらい、解剖生理が重要と改めて実感しました。

★今月の記事★

- 1p・・・ナーシングセミナーご案内
- 2p・・・私の大切にしている看護
- 3p・・・キラッと訪問看護
- 4～5p・・・医系学生企画
- 6p・・・ボランティア募集
- 7p・・・私のオススメ・おたより
- 8p・・・ENS参加者募集

私の大切にしている看護



看護師になり、3年目の年を迎える。これまでを振り返るとあっという間の2年間だった。私が看護をする上で大切にしていることは、“笑顔でいること”と“寄り添うこと”である。

私は幼い頃から看護師である母親の働く姿を見ていたため、憧れを抱き看護師の道を目指した。学生時代には勉強、実習、試験・・・と忙しい毎日で何度も看護師になることを諦めそうになった。そんな中、実習先での患者さんからかけてもらった「良い看護師さんになってください。またその時はお世話になります。」という言葉に励まされなんとか看護師になることができた。

実際に看護師になり働きだすと、看護師になり働いている嬉しさの反面、学生時代に思い描いていた看護師像と自分の違いに戸惑うことが多くあった。忙しい業務の中でできない自分がとても嫌で仕方なかった。

そんな時、患者さんから「あなたの笑顔は元気が出る。あなたやったらお願いしやすい。」と言われたことがあり、こんな自分でも患者さんのために役に立てているのだと感じ、嬉しくなった。

また、看護師は患者さんの色々な“時”を目にする。しんどい時、嬉しい時、悲しい時様々な時がある。そんな時を患者さんの近くで感じ、時には共に喜び、時には悲しみに共感し、そばで寄り添うことのできる看護師でありたいと思う。

まだまだ経験も浅く、知識や技術も未熟ではあるが、この2つを心掛けこれからも頑張っていきたい。



京都協立病院 長元友実（卒3）

きらっと訪問看護

訪問看護は看護力が発揮出来るやり甲斐のある仕事

私は訪問看護師として勤務して5年余りになります。

看護師歴はもう30年を超えました。

看護学生の頃に病棟で働き、看護師資格を得てから診療所・病院の外来・ケアマネージャーを経て、現在の訪問看護ステーションに勤務をしています。

訪問看護では、利用者さんに経済的負担を強いる事がない様にケアの物品も家にある物を利用して行っています。陰洗ボトルはペットボトル、寝たきりの利用者さんの洗髪はゴミ袋とバスタオルとバケツがあれば出来ますし、排便を促す為のホットパックはオムツのポリマーに水を染み込ませて電子レンジで温めて作っています。身近にあるも物を活用してケアする看護の応用力も求められる場だと思っています。

また利用者さんや家族は様々な悩みや思いを抱えておられるので、訪問の際の看護師の人間力も試される様にも感じています。気持ちを汲み取り不安を取り除ける様なアドバイスや話術も要求されます。利用者さんや家族の方の笑顔が溢れる時間が持てると嬉しくなります。24時間いつでも気軽に電話して相談出来たり、訪問に来てくれるのも在宅療養をして行く上での支えになっているのではと自負しています

訪問看護は住み慣れた地域の中でその人らしい生活が営める様に援助出来るやり甲斐のある仕事だと私は思っています。

吉祥院訪問看護ステーション

山本勝代



医系学生企画メディカルコミュニティー

5月のテーマは「終末期医療について」

講師は
京都民医連中央病院
老人看護専門NS
長谷川美智子さん

5月28日(火)18時~20時半、荒神口の京都民医連医学生センターにて
医学生4名(府立医大5・3:2・1回生)、看護学生6名(光華女子大1名、医師会2名、
近看1名、保健衛生1名、洛和会1名)が集まり、学習&交流しました。

★学習の時間★

「非がん疾患とともに生きる高齢者への看護実践~最期まで“その人らしく”~」

というテーマで、「高齢者のことならなんでも相談を受けている」老人看護専門看護師の長谷川NSから講義を受けました。

主に、認知症の患者さんへの対応について、また、非がん疾患の高齢者の終末期医療についてのお話でした。事例を紹介しながらの講演のため、情景が目につかび、困っている患者さん・スタッフ・家族、それぞれの立場を尊重しながら、「調整役」として活躍し、またチームでケアに当たる様子がよく分かりました。

また、* チームで患者さんの意思決定の確認をする * 理屈・事実だけでなく、“納得”の感覚を重視していること * 患者さん・家族・関係者がコミュニケーションを通じて合意形成するプロセスを大事にしていること * そこで大切なのは、自分の価値を通すのではなく、いろいろな人から意見を聞くこと * 患者さんが私たちから大切にケアされているか、患者さんが決してみじめでない姿であるか、自分が前に出るのではなく、背中から支える感じでケアできているか…と常に考えてケアすること、などお話しの際々にケアしていく上で、大事な言葉がいっぱい散りばめられていた貴重な講演でした。



♪講演の後の質問コーナー♪

Q:学校のGWで終末期医療をしているが、終末期の患者さんと家族の気持ちをキューブラー・ロスの死の受容の5段階のプロセスで考えてくる課題があるのですが…。



A: キューブラー・ロスの理論とかモデルを学生の時にしっかりするのは、客観的に見られるようにするためにも大事なこと。『死ぬ瞬間』『ライフレッスン』を読んだら深まるし面白い。臨床では客観的な見方ができた上で、その人の体験にどれくらい近づけられるか、個別的な看護ができるかが問われる。ぜひ、「傾聴」「共感」「寄り添う」とはどういうことかということも一緒に調べてみたいと思う。

私は「共感」「寄り添う」とは、「その人(患者さん)を分かり得ない自分」から出発し、患者さんの苦悩に出会い、自分も悩みながら、関わり続けること、その人がしんどい時に目をそらさずに向き合うこと、と思いながら働いています。

Q:じりつ(自立・自律)ってなんだと思いますか?宿題なんです。

A: うわ~、深いな~。いつも私はそれを考えてるわ~。終末期の自立ってなにやる?とか。今までできていたことができなくなっていても、その人を尊重するケアを心がけている。援助が必要になっても、選択できるような働きかけをしている。自分で動けなくなった患者さんに「右向きますか?左向きますか?」と声をかけたり。いい宿題やな~。頑張ってるね。

《長谷川NSの講演を聞いての感想》

- 身内に認知症を患っていたり、脳卒中で入院中の人があるので、終末期医療について見識が広まり、深まり、これから接していく上でとても参考になりました。
- 「共感すること」やチームとの関わり方、認知症の方とのコミュニケーションの取り方など、印象深い内容でよかったです。素敵なお方だなと思いました。
- 今、超高齢者社会で高齢者が増えてきており、今後、認知症の患者さんが増えてくると考えられる。実習で活かしていきたい。話を聞いてよかったです。
- 興味のある分野だったので、とても勉強になりました。非がん疾患患者への緩和ケアは疑問に思う点があったのですが、その部分が知れてよかったです。
- とても楽しく話しが聞けました。「自立」「自律」について頑張ってください。
- 事例があって、分かりやすくとても参考になりました。
- とてもよかったです。またお会いして、詳しくお話しを伺いたいと思いました。大学で学んでいるだけでは、臨床での高齢者の様子を知ることができないため、実際のお話しを聴き、「生の話」という感じがして非常に新鮮でした。



長谷川NSは実は元奨学生で、学生時代はこの医学生センターによく出入りしていたこともあって、「懐かし～！全く違和感がない～。学生時代は毎日のようにここにきてたな～。学校には行かなくてもここに来て、みんなで医療や平和について考えたり、フィールドワークに行ったり…。楽しかったな～。今でもその時の仲間と同じ病院で医師と看護師として働いていて面白いで～。」と気さくに話してくれました。講義もほんとに分かりやすかったです。ありがとうございました！！

医学生より今年は山梨で開催される“医学生ゼミナール”の紹介もありました。

★交流の時間★

初顔合わせのため、ほとんど自己紹介で終わってしまいましたが、医学生センターのスタッフが作ってくれたおいしいカレーとオニオンスープ、サラダを頂きながら、楽しい時間を過ごしました。

《感想》

- 医学生の方と接する機会が普段ないので、学校での話なども聴けてよかったです。
- 他の看護学校や医学生の方が来ていて、仲間が増えたような気がして嬉しかったです。
- 参加者それぞれが自分の目指す医療の形をイメージしていて大変刺激になります。
- 普段あまり交流のない看護学生の話が聞いて興味深かった。
- 普段関わる機会がないので、交流できてよかったです。
- 思っていたより話しができてよかったです。学校は違っても同じ医療へ進む仲間として、交流できるのは嬉しいです。
- いろいろな人がいるんやなあと思いました。

♪ 次のメディカルコミュニティーは 6/25(火)に行ないます ♪ (時間は両日とも 18時～20時半、場所は河原町荒神口上ルの京都民医連医学生センター) 参加できる方は京都民医連 日西まで

西の京ボランティアさん大募集!!

盆踊りへの外出支援



ボランティア募集

老健西の京では、隣接の駐車場で催される盆踊り会場まで、入居者さんの車いすを押ししたり、お話し相手をしていただける方を募集しています。時間があればお店めぐりも行います。夏祭りの雰囲気を楽しみませんか。

ボランティア未経験でも、やる気があれば構いません。車いすの扱い方等必要な事は職員が指導致します。親子での参加も構いません。皆様の参加、お待ちしております。

日時 2013年7月27日(土)
17時30分～20時00分(予定)

場所 介護老人保健施設 西の京

応募 7月19日(金) 定員30名

その他 軽食つきです。なお、施設までの交通費はご負担下さい。

※ボランティア保険加入施設です。
※集合時間など変動する場合があります。
※雨天中止の場合、当日開始までにご連絡します。

五山の送り火



ボランティア募集

老健西の京では、五山の送り火に施設内の車いす等の移動をお手伝いいただける方を募集します。エレベーターで屋上に上ったり、施設内お楽しみ会での車いす移動のお手伝いをさせていただきます。運が良ければ、屋上から三山が見られますよ。

老人福祉に興味のある方はもちろん、ボランティア未経験の方も大歓迎です。そばに介護職員がおりますのでご安心下さい。車いすの扱い等必要な事は職員が指導致します。元気で明るい方の参加をお待ちしています。

日時 2013年8月16日(金)
18時30分～20時30分(予定)

場所 介護老人保健施設 西の京

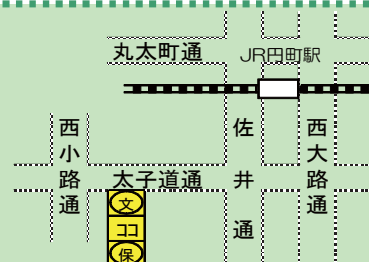
応募 8月9日(金) 定員20名

その他 軽食が有ります。なお、施設までの交通費はご負担下さい。

※ボランティア保険加入施設です。
※集合時間など変動がある場合があります。
※雨天中止の場合、当日開始までにご連絡します。

【お問い合わせ】

〒604-8454 京都市中京区西ノ京小堀池町16
介護老人保健施設 西の京 担当 伊東
TEL : 075-821-3388 (代表)
mail : rouken10@hoken-fukushi.jp
http://www.khf.ne.jp/nisinokyo/



夏はみんなでENSに行こう

第11回 Egg Nurse Step

テーマ

絆

きずな

～出会いを大切に～

Let's wide the circle of friendship in ENS

↑↑近畿の看護学生が集まったの実行委員会で企画を作りあげます↑↑

当日参加者大募集

日程：8月9日～10日

場所：シーサイド舞子びら神戸

参加費 1人 3000円



テーマ曲

Hey 和 ゆず



学習企画：テーマ

「被災者に
寄り添う活動」

<お申し込み・お問い合わせ先>

京都保健会事務局（看護学生担当 佐藤）

TEL 075-813-5901(代表)

メール：kangaku@kyoto-hokenkai.or.jp

第二中央病院 師長室(看護学生担当 岩田)

TEL 075-712-9133(直通)

メール：eggnurse@shinwakai-min.jp

京都民医連事務局(看護学生担当 日西)

TEL 075-314-5011(代表)

メール kangogakusei@kyoto-min-iren.org

毎年夏に京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の看護学生が集まり、セレモニー班、交流企画①、交流企画②、学習企画の4つの班に分かれて企画を準備しています。昨年は運動会や肝試しで交流し、終末期医療について学びました。

今年も多くの看護学生さんと楽しく充実した時間を過ごせるよう実行委員会で準備中です！！

みなさんぜひ来てくださいね☆